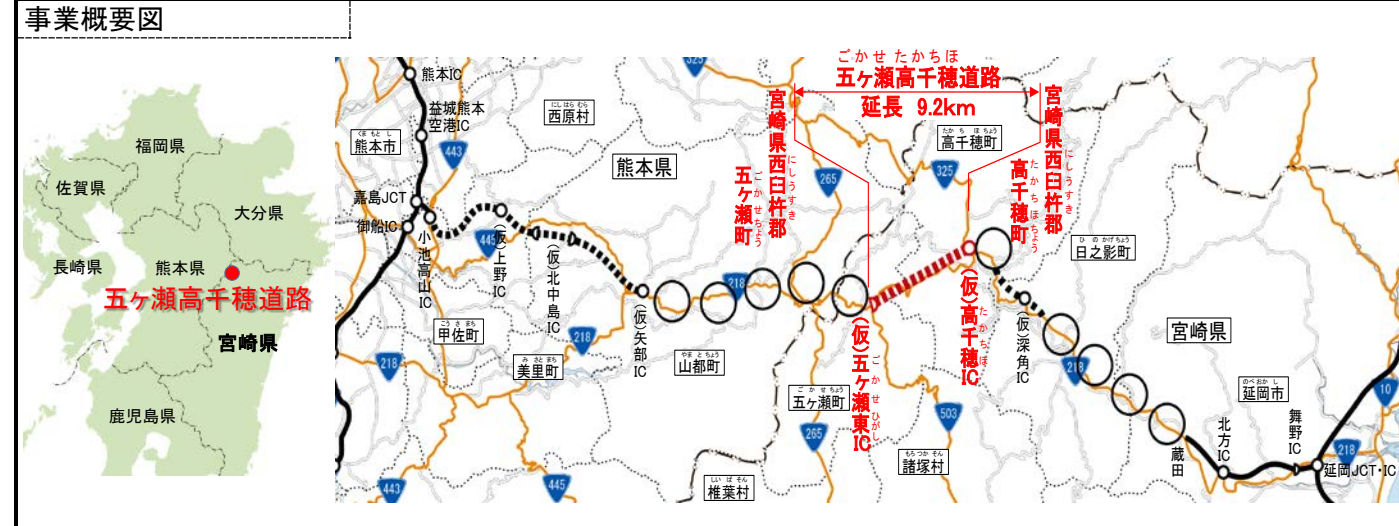


新規事業採択時評価結果（平成30年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
 担当課長名： 村山 一弥

事業の概要

事業名	一般国道218号 (九州横断自動車道延岡線)五ヶ瀬高千穂道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点	宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町～西臼杵郡高千穂町		延長	9.2km	
事業概要	九州横断自動車道延岡線は、熊本県御船町を起点とし、宮崎県五ヶ瀬町、高千穂町、延岡市に至る計画延長約95kmの高速自動車国道である。 そのうち、熊本県上益城郡山都町～宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町間及び西臼杵郡高千穂町～末市交差点間、西臼杵郡日之影町～延岡市北方町間は、未事業化区間となっている。				
事業の目的、必要性	本道路は、災害時の救援活動等においても機能する信頼性の高い高速ネットワークの形成による防災機能の強化や第3次救急医療施設へのアクセス性向上による医療活動等の支援など安全・安心な生活環境の確保を図る。また、東九州自動車道等と連携した広域観光ルートの形成により観光振興の支援に寄与するものである。				
全体事業費	約470億円	計画交通量	約7,200台/日		



関係する地方公共団体等の意見
 一般国道218号は、熊本県熊本市を起点とし、宮崎県高千穂町を経由し、宮崎県延岡市を終点とする路線であり、九州横断自動車道延岡線(高速自動車国道)に並行して、九州中央を横断し、九州の東西の産業、経済、文化等の交流連携を担う幹線道路であります。
 また、当路線は第1次緊急輸送ルートに指定されるなど、地域住民の生活に不可欠な生命線道路として、地域の安全・安心の確保や産業振興を図るうえで重要な役割を担う幹線道路でもあります。
 しかし、当路線の五ヶ瀬町、高千穂町付近には、特に平面・縦断線形不良箇所や防災対策が必要な箇所が多く存在し、また、豪雨による災害や冬季の積雪などにより、たびたび交通に支障を来しているなど、脆弱な路線でもあります。
 加えて、地質的に脆弱な地帯をトンネルで通過するため、設計や施工方法の選定、施工管理に高度な技術力が必要とされます。
 つきましては、事業中である一般国道218号高千穂日之影道路に引き続き、当該区間においても、高速自動車国道に並行する自動車専用道路として、直轄事業による実施をお願いします。
 なお、本県としましては、国が調査中の日之影～蔵田間に並行する現道部は幅員や勾配に課題がありますが、サービス水準を向上させるため、法面防災箇所の対策、長大橋や特殊橋の点検・補修、橋梁の耐震化等を実施します。
 また、高千穂町三田井から末市交差点間の現道部においても、標記区間の供用後の交通状況の変化を見越して必要となる交差点改良等の対策を実施します。
 最後に、開通直後から直ちにストック効果が最大限発揮させるための地域の取り組みを一層推進してまいりますので、格段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

学識経験者等の第三者委員会の意見
 ・新規事業については妥当である。

事業採択の前提条件
 ・費用対便益：便益が費用を上回っている。
 ・手続きの完了：計画段階評価手続き完了(H30.2)

事業評価結果

費用対便益分析	B/C	2.4 (1.1)	総費用 855億円 (事業費: 755億円 維持管理費: 100億円)	総便益 2,021億円 (走行時間短縮便益: 1,729億円 走行経費減少便益: 220億円 交通事故減少便益: 72億円)	基準年 平成29年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=2.1 (交通量 -10%)	B/C=2.6 (交通量 +10%)		
		事業費変動	B/C=2.2 (事業費変動 +10%)	B/C=2.6 (事業費変動 -10%)		
		事業期間変動	B/C=2.1 (事業期間変動 +20%)	B/C=2.5 (事業期間変動 -20%)		
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	—	・注目すべき影響はない		
		事故対策	—	・注目すべき影響はない		
		歩行空間	—	・注目すべき影響はない		
	社会全体への影響	住民生活	◎	・第3次救急医療施設までの搬送時間短縮による60分以内の到達可能カバー人口増加 [60分圏域人口カバー率] 山都町：現況 約7,500人(49%) → 整備後 約13,100人(86%) 五ヶ瀬町：現況 0人(0%) → 整備後 約2,000人(53%) 高千穂町：現況 約10,000人(78%) → 整備後 約11,500人(90%) 合計：現況 約17,500人(55%) → 整備後 約26,600人(84%)		
		地域経済	◎	・五ヶ瀬町と高千穂町の移動時間短縮と走行性向上、東九州道等と連携した広域ネットワークの形成による観光振興支援 [五ヶ瀬～高千穂の移動時間] 現況 16分 → 整備後 8分(8分短縮)		
		災害	◎	・現道の線形が厳しい箇所や防災点検要対策箇所等を回避し、災害時の救援活動等においても機能する信頼性の高い高速ネットワークを形成。 [現道課題箇所の回避] 平面線形が厳しい箇所：現況 29箇所 → 整備後 0箇所 縦断線形が厳しい箇所：現況 31箇所 → 整備後 0箇所 防災点検要対策箇所：現況 5箇所 → 整備後 0箇所		
環境		—	・注目すべき影響はない			
地域社会	—	・注目すべき影響はない				
事業実施環境	○	・宮崎県知事より、五ヶ瀬～高千穂間の早期事業化を要望				

採択の理由

費用便益比が2.4(1.1)と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。
 五ヶ瀬高千穂道路の開通により、災害時の救援活動等においても機能する信頼性の高い高速ネットワークの形成による防災機能の強化や第3次救急医療施設へのアクセス性向上による医療活動等の支援など安全・安心な生活環境の確保を図る。また、東九州自動車道等と連携した広域観光ルートの形成により観光振興の支援に寄与するものであるなど、事業の必要性・効果は高いと判断できる。
 以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※B/Cの上段の値は嘉島JCT～延岡JCT・ICを対象とした場合、下段()書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果

新規事業採択時評価結果（平成30年度新規事業箇所）

事業評価結果（防災機能）

事業の必要性		
<p>本道路は、災害時の救援活動等においても機能する信頼性の高い高速ネットワークの形成による防災機能の強化や第3次救急医療施設へのアクセス性向上による医療活動等の支援など安全・安心な生活環境の確保を図る。また、東九州自動車道等と連携した広域観光ルートの形成により観光振興の支援に寄与するものである。</p>		
評価項目	地域の課題	関連する計画
防災	<ul style="list-style-type: none"> 当該区間の並行現道である国道218号は、政府が定める「緊急輸送ルート」に指定されており、南海トラフ地震発生時における宮崎県北部、大分県南部地域の想定被災者約14万人を支援する重要な路線。 しかし、当該区間の現道は、九州横断道延岡線の未事業化区間の中でも平面及び縦断線形の厳しい箇所や防災点検要対策箇所が最も集中して存在し、特に被災リスクが高い区間。 そのため、当該区間の現道では、過去10年で、片側通行止め2回、冬季のチェーン規制が43回発生するなど、災害に対して非常に脆弱。 	<p>※九州圏広域地方計画(H21.8)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模災害時においても、救援・救護、災害復旧等に的確に対応できるよう、広域的な防災・危機管理体制を強化するとともに、災害時における確実な避難・緊急輸送等を図るための迂回ルート等の余裕性（リダンダンシー）に優れた交通・情報通信網や広域防災拠点の整備、耐震化や適切な維持管理等を推進する。 <p>※未来みやざき創造プラン(H27.7改訂)</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害時の緊急輸送、救急医療を円滑に進めるため、高速道路などの緊急輸送道路や港湾等のインフラ整備を推進し、高度成長期に整備し、一斉に更新時期を迎えるインフラの維持管理を行うなど、安全・安心のベースとなるインフラ機能の強化を図る。
医療	<ul style="list-style-type: none"> 山都町、五ヶ瀬町、高千穂町には第3次救急医療施設がなく、3町総人口の約5割にのぼる約1.4万人が60分以内に熊本市、延岡市の第3次救急医療施設へ到達できない状況。 第3次救急医療施設へのアクセス性向上による医療サービス水準の地域間格差の解消が必要。 	<p>※未来みやざき創造プラン(H27.7改訂)</p> <ul style="list-style-type: none"> へき地医療の充実や、安全・安心で質の高い医療を提供できるよう県立病院の機能強化を図るとともに、各医療機関が機能を分担・連携することにより、切れ目のない医療提供体制の確立を目指す。
観光	<ul style="list-style-type: none"> 宮崎県一の観光客数を誇る高千穂町は、東九州道等の開通の影響などにより、観光客数が年々増加傾向で、平成27年には過去最高の162万人に達している。 一方で、五ヶ瀬町の観光地においては、東九州道等からの移動時間を要するため、観光客が十分に取込みできておらず、観光客数は伸び悩んでいる状況。 	<p>※九州圏広域地方計画(H21.8)</p> <ul style="list-style-type: none"> 南九州、東・中九州、西九州の各地域において、循環型の高速交通体系の形成を図りつつ、歴史・文化、健康・癒し等の魅力ある地域資源を結ぶ広域観光ルートの形成を進める。 <p>※未来みやざき創造プラン(H27.7改訂)</p> <ul style="list-style-type: none"> ライフスタイルや価値観の変化、交通ネットワークの充実等に伴う、観光形態・ニーズの多様化や観光ルートの広域化等への対応を推進。
その他		

事業の有効性									
<p>・当該事業の実施により、脆弱度の評価がCランク→Bランクに改善するとともに、災害時の防災機能が強化される。</p> <p>・また、本事業において、災害時の救援活動等においても機能する信頼性の高い高速ネットワークの形成による防災機能の強化や第3次救急医療施設へのアクセス性向上による医療活動等の支援など安全・安心な生活環境の確保を図る。また、東九州自動車道等と連携した広域観光ルートの形成により観光振興の支援に寄与するなど、有効性の高い事業と評価する。</p>									
道路ネットワークの防災機能	主な区間		改善ペア数	脆弱度（防災機能ランク）		累積脆弱度の変化量	改善度		評価
	熊本空港	延岡市		整備前	整備後		通常時	災害時	
					26 [8]	0.50 (C) [0.88 (C)]	0.20 (B) [0.61 (C)]	▲283.4 [▲130.3]	0.12 [0.06]

事業の効率性	
・手続きの完了	: 計画段階評価手続き完了 (H30.2)

※道路ネットワークの防災機能の上段の値は嘉島JCT～延岡JCT・IC（仮称）を対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の防災機能評価結果